

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	3873500536		
法人名	有限会社 すまいる		
事業所名	グループホーム すまいる		
所在地	伊予郡砥部町北川毛1442番地16 (電話) 089-962-1333		
管理者	池田 正代		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 20 日	評価確定日	平成 20 年 11 月 20 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 20 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 9 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	14 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	350 円	昼食 350 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 20 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	1 名	要介護 2	4 名
要介護 3	5 名	要介護 4	7 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 81.9 歳	最低 63 歳	最高 91 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは山裾にある住宅地の一番奥に立地しており、自然豊かな環境である。南側の貯水池で野鳥が餌をついばんでいる情景を窓からも眺めることができ、時間がゆっくりと流れている。開設当初から重介護に備えて設備を整えており、特に座位保持機能付きの浴槽リフトは、介護度の高い利用者にもゆっくりと入浴を楽しめると好評である。利用者が職員の手助けをするたびに「ありがとう」というと、利用者は笑顔で応えるなど、家族的な生活を送っている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

改善することは利用者の生活の質が向上することであるとの認識のもと、積極的に取り組んでいる。災害対策のための地域との連携や、栄養管理、苦情の第三者機関の明示など、早々に対応している。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

職員一人ひとりが自己評価に取り組み、管理者やホーム長との話し合いを行った上で評価項目を記載している。運営者も話し合いに積極的に関わっている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議を、話し合いの場だけでなく、研修の機会や親睦を深める場としても活用している。開催場所も、ホーム内だけでなく地域の料理店も活用しており、打ち解けた雰囲気の中で話題が深まっていく。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

管理者やホーム長は、家族の来訪時に利用者の日常を伝えられるよう、シフトに工夫をしている。また、来訪の少ない家族等には手紙や情報誌を毎月送付するなど報告には心を砕いている。事故に繋がらなかった事柄についても家族に報告するなど、不安感を抱かせないよう報告などには積極的に取り組んでいる。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

町内会への加入や散歩時の挨拶、清掃活動など、地域住民としての役割を果たしている。また、地域のボランティアや小学校との交流なども行っている。今後は、利用者が地域住民として役割を持てるような働きかけが期待されている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム すまいる

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 池田 正代

評価完了日 平成 20 年 9 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者が当ホームを生活の場としてとらえ、家庭で過ごされていた時と同じ安らぎを持ち暮らしていく為の理念を掲げています。 (外部評価) ホームは住宅地で運営をするために、開設前から地域住民と話し合いを行っており、地域という概念は自然と理念の中に組み込まれている。理念の基盤を「地域住民になる」ということに置いている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員個々に名刺大の理念を掲げたカードを常に持ち歩き、またホール内の目の届く所に貼り出す等して意識を高めるようにしています。また入居者に携わる時、その状況を自分に置き換えて考えて見ると言う事を常に話し合い意識づけしています。 (外部評価) 管理者と職員は「自分が住みたい場所」ということをキーワードに話し合いを持っている。ケアを行う時も「自分に置き換えても本当にしてほしいこと？」と絶えず自問自答しながら、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関ホールやホール内でのケア目標の貼り出し及び事務所にて気軽に閲覧できるようにしており、ホームだよりや運営推進委員会でも議題に取り上げ、理解して頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域行事に参加したり、当ホームの行事にお誘いしたりする事で交流が深まっていると思います。 今ではご近所の方が家庭菜園の野菜をおすそ分け下さったり、休みの日には近所の子供達が遊びに来て下さいます。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域で行われる清掃や行事に参加しています。 又、当ホームの行事には地区の役員さんや子供会の参加を呼びかけ、地区の一員として自然体で暮らす事を心がけています。 (外部評価) 町内会への加入や散歩時の挨拶、清掃活動など、地域住民としての役割を果たしている。また、地域のボランティアや小学校との交流なども行っているが、職員主導の感があり、利用者が直接的に関わりがあるとまでは言えない。	※	管理者や職員の働きかけで、ホームは地域に定着していると思われるので、今後はさらに利用者が地域住民として役割を持てるような働きかけを望みたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会のメンバーに在宅で認知症介護をしている方がおられ、話しを伺ったりアドバイスをさせて頂く機会もありますが、地域貢献ができていないか、と言われるとまだまだこれからの課題だと思います。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の実施により良い意味での意識の向上に繋がっていると思われます。また評価の問題点に関して職員会でも積極的に取り上げ、その改善方法を話し合い迅速に対応しています。 (外部評価) ホームの評価を行うのは今回で5回目と、管理者も職員も評価は回数を重ねており、意義をよく理解している。「毎回考えさせられます」との言葉から、真摯に取り組んでいることがうかがえる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 当ホームの外部評価項目及び外部評価結果を平成19年度の運営推進委員会議の議題としても取り上げ、様々な意見を出して頂きました。またその意見を職員会で話し合いケアの向上に向け取り組んでいます。 (外部評価) 運営推進会議を、話し合いの場だけでなく、研修の機会や親睦を深める場としても活用している。開催場所も、ホーム内だけでなく地域の料理店も活用しており、地域との繋がりが意識されている。議事もイベントの話から利用者の状況まで多岐に渡り、利用者へのサービス向上に活かす取り組みがなされている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 二、三ヶ月に一度の市町村主催の連絡会に参加させて頂いたり、町の介護相談員の方の訪問受け入れも毎月行っています。 (外部評価) 町主催のサービス担当者会議が定期的に行われており、運営推進会議以外でも情報交換が行われている。参加者が30名程度であることで「顔が見える会議」となっており、回数を重ねることが深い連携を可能にしている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加したりと積極的に取り組んでいます。		現在制度を利用されている利用者がいらっしゃいます。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修会等の参加や内部研修やアンケート調査を実施し、防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族には十分な説明、話し合いをし、納得して頂いていると思います。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に一度の市町村の相談員の方との話し合いの中で利用者の希望や不満を聞き出して頂いたり、スタッフと個人的に会話を持つ事で利用者の思いをくみ取るよう心がけてケアにあたっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会にこられた時には近況を報告したり、月に一度近況報告及び金銭面での詳細を送付しています。特に利用者の状態変化が見られる時には、電話報告等を行いご家族と今後のケア方針についてよく話し合うようにしています。 <hr/> (外部評価) 管理者は、家族の来訪時に利用者の日常を伝えられるよう、シフトに工夫をしている。また、来訪の少ない家族等には手紙や情報誌を毎月送付するなど、報告には腐心している。特に身体状況に変化がある場合は電話等での報告を積極的に行い、家族と共にケアの質を上げる取り組みがなされている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 当ホーム内での苦情委員会の設置をご家族に明示し、ケア方針の説明等も個別に行う機会を設け、その中で意見交換するようにしています。又面会時には、管理者や職員がご家族と話す機会を持てるよう努めています。 <hr/> (外部評価) 意見や苦情を表明できる機関を契約時に説明しているが、家族の来訪時は直接意見を聞く機会として、管理者や職員ができるだけ対応するように心がけている。運営者もホームに積極的に関与して家族に声をかけており、意見等を聞いている。		ご家族が外部者に表せるよう、契約書に第三者の苦情窓口の記載をしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会で意見や提案を聞く機会を作ったり、運営者と年に一度の個別面談を行う中で多くの意見を取り上げ、反映出来るよう努めています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ホーム長及び管理者が毎日フリーで動き、緊急時にも対応出来るようにしています。また外出時や行事に合わせてパート職員の確保をしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 今の介護報酬での給与では離職を抑えることは困難です。外部評価にかかる費用、今後設置が義務付けられるスプリンクラー等行政から押し付けられる出費が人件費を圧迫しております。 (外部評価) 単独のホームであるために職員の異動はない。また、ユニット間の交代も利用者との馴染みの関係を重視しているために殆んど行われておらず、離職者も多くない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会への参加を希望するスタッフには費用等の援助は引き続き行っておりますが、どの研修の内容も同じことを繰り返すだけで何度も受ける必要性は感じておりません。現在は研修を半強制的に受けさせることよりも一度受けた研修で気付いた改善点や方法等を実際に現場で生かしているかどうかを確認していきたいと思っております。 (外部評価) 利用者へのサービスの向上には職員のスキルアップは不可欠として、法人内での研修が定期的に行われている。また、外部の研修にも参加を促している。職員も向上心が強く、資格の取得にも積極的で、ホームもそれを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 2～3ヶ月に一度同業者との会合を開いておりますが、管理者の参加までは至っておりません。 (外部評価) サービス担当者会議でケアに対する意見交換や事例検討会が行われている。また、地域の他施設と相互訪問も行われている。しかし、管理者レベルの交流であるため、ネットワークづくりとまでは言えない。	※	地域の同業者でのネットワークづくりという計画があるので、先輩格のホームとして積極的に関わっていくことを期待する。また、職員の相互研修なども企画し、ホーム全体の質が向上できるような取り組みを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者とは定期的に食事会を持ちスタッフの声を聞き、ハード面ソフト面での対応を行っております。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 非常に困難ですが勤続年数により昇給及び賞与の支給を行い、少しでもモチベーションを持ち続けてもらうよう努力しております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来る限り本人との面接を行い、利用されるまでも話を傾聴したり、コミュニケーションをとれるよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族とも面接時や契約時十分な話し合いを行い、意向等を確認しながらケアの方向性を決めて、説明にあたるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 十分なアセスメントを行い本人の現状を把握するとともに、自立支援に向けてのさまざまなサービス案を検討しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人との十分なコミュニケーションのもとにその意向を説明させて頂き、納得して利用して頂けるようお茶の時間を一緒に他の利用者と過ごして頂く機会を作ったり、体験宿泊して頂く等、工夫しています。 (外部評価) 利用者がホームに馴染めるように見学や訪問などを行っているが、十分な時間が確保できる場合は多くないため、関わりを重視した取り組みを行っている。関わりのポイントを利用者同士のつなぎ役に置き、相互理解を促している。職員は、目くばりは行いが余計な口出しは行わないようにし、利用者相互が馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事やおやつ等、日々の生活の中で一緒にテーブルで過ごす時間を常に持ち色々な会話をしながら、その会話の中で利用者から学ぶ事もたくさんあり、一緒に作業しながら共に笑い、喜びあえる関係を築いています。 (外部評価) 職員に仕事の状況を聞くと、「ここに来るとほっとする」と笑顔の回答がある。「利用者からは精神的な安らぎをもらっている」との話もあり、相互扶助の関係が構築されていることがうかがえる。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の面会の時には、食事介助や散歩等を一緒に手伝って頂いたり、本人を交えてお話を伺ったり、外出レクも出来る限り一緒に過ごして頂けるよう連絡しお誘いしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人との会話の中で、家族に対する気持ち等を読み取るとともに、ご家族とも十分に話し合い、認知症ケアに対する理解と協力をして頂けるよう、常に職員及び管理者、ケアマネージャーが橋渡しになっています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者のお友達等馴染みの方が面会にこられた時には、意思疎通の難しい方には職員が会話の橋渡しをしたり、近所のスーパーへ買物行かれ知り合いにお会いした時等には少しでもお話し出来る時間を作っています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員と一緒に会話に加わり意思の疎通の橋渡しをする事で、基本的には皆で仲良く過ごして頂けるよう、一つのテーブルやソファに集まって頂く工夫もしています。また個人の性格を把握し、相性の良い人同士ゆっくりくつろげるような時間、場所にも配慮しています。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 地域密着型になって特に家族とも顔見知りの職員も増え、その後の状況も何う事も出来たり、行事参加の案内等を送付したりもしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 会話の中から本人の意向や希望を把握し、出来る限り本人の意志を尊重出来るよう、ケアカンファレンスを行い努力しています。 (外部評価) 管理者や職員は利用者と過ごす時間が長く、仕草や会話でその人の思いを感じることができており、それを職員間で共有するように引き継ぎ時に話し合ったり、記録として残したりしている。表現が困難な利用者に対しても、ちょっとした表情を見のがなさいような関わりを大事にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族面会時には出来るだけ多くの情報を頂けるように話し合いを十分に持ったり、また回想法等を取り入れる事で、本人からの意思や希望を引き出せるようなケアに取り組んでいます。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康管理表や個人別の介護記録等で日々の観察を記録し、それに目を通しながら、ケアカンファレンスでモニタリングや話し合いを行っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画作成時には家族の希望も事前にお聞きし、常にスタッフ全員でこれまでの経過や問題点の話し合いを持ち、ケアプラン作成時にはスタッフ全員の意見を取りまとめ作成しています。 また医療的治療が必要な方には医療関係者との話し合いを持った上で計画案を作成しています。 (外部評価) 介護計画の素案は全員で話し合い、管理者や計画作成担当者がまとめている。家族や関係者にも相談しており、多角的な視点での計画になるように取り組んでいる。しかし、計画の基礎となる記録のデータ化や整理は管理者が主に行っており、チームとしての関わりは少ない。	※	ホームには長期に勤務している職員も少なくなく、介護技術のレベルも高い職員が多いため、各職員に担当として介護計画の原案を作成させるなど、職員を育てる場としての取り組みにも期待したい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 短期目標に合わせてモニタリングを行うとともに、随時状態変化に応じてケアカンファレンスを行い、新たな介護計画を作成しています。 (外部評価) 介護計画には短期目標を設定しており、その評価を毎月行うことで見直しの時期を見定めている。利用者の状態に応じ、かかりつけ医等と相談のうえ見直しを行う場合もあり、臨機応変に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人別の介護記録や日誌への記録、情報交換ノートの活用により、スタッフ全員が目を通し情報共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の要望や身体的状況に応じて多機能の分野で個別ケアに取り組んでいます。 (外部評価) 単独のホームであるために、ハード面の機能が整っているわけではないが、管理者やホーム長が往診の支援や送迎などの援助を行っている。近隣に居住している職員が地域住民ならではのちょっとした情報や催し物を利用者と共に楽しんでいることもホームの機能として有用なものになっている。		在宅マッサージやリハビリ通院の介助、衣料品や食料品の買い物に同行したり、また美容院への送迎等様々なニーズに対応しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防、地域消防団の方には日頃から災害時などの協力をお願いしています。また外出レクの際にはボランティアさんに協力して頂いています。 防火訓練の実施や町の文化祭・小学校の運動会等への参加を行っております。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーやサービス事業者同士の交流は常にあるので、その体制は整っています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営者やケアマネジャーが何度か訪問したり、運営推進委員としても来所して頂き、常に相談できる関係を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム担当の主治医がいる為、本人及び家族に事前に説明し納得して入居して頂いていますが、長年のかかりつけ医がいる場合は主治医と相談しながら出来る限り本人の希望も大切にしています。 (外部評価) 認知症に造詣の深い総合病院が協力機関であるため、利用者や家族も納得の上でかかりつけ医となっている。専門分野の医療に関しても、かかりつけ医からの紹介で適切な医療を提供している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医及び協力医療機関は、心療内科や認知症専門のケアセンターも隣設されており、常に主治医や看護師との連絡や相談が取れるような関係で、ケアにあたっています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師は往診時、受診時には必ず同行して下さり、利用者の状態も把握して下さっています。また電話や面会での相談も、気軽に出来る関係を築いています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関は、24時間体制で入院等緊急を要する場合もバックアップして下さっており、また日常的にも情報交換や相談が出来るよう、電話連絡や訪問を行っています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の体調変化に対しては、早急に受診し主治医と相談の上、主治医、運営者、ご家族同席の元、ご家族に説明を行い、その意向や状態により対応しています。 (外部評価) 高度の医療ニーズが必要でない限りはホームで生活できるように支援する方針で話し合っている。家族とも、契約時は勿論のこと利用者の状況に応じて話し合いを行っている。管理者は、終末期の実践から家族の協力は必須との認識があり、ホーム内でのターミナルの方針の共有化には余念がない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医と相談の上、当ホームで出来る事に関しては、全力で取り組んでいます。		栄養不良の利用者に関しては、経口栄養食の摂取介助、また脱水予防には訪問看護にて、点滴施行をしています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の施設に移り住む際には、多施設の担当者とは何度か話し合いの時間を持ったり、ご家族とも十分に話し合いを持って対応するようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉がけには十分注意し、利用者を人生の先輩として尊敬する気持ちを持ち接しています。 また、個人の記録に他の利用者の事を記載する時には、イニシャルにするなど他の方の目につかない様配慮しています。 (外部評価) 利用者への関わりは、認知症が進んでいる人にもすぐ否定するのではなく、理解していることを示しながらゆつくりと安全な動作になるように声かけを行っている。また、記録の管理も専用の部屋で慎重に行っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせた声かけを行い、促しをする時も本人に確認を取ったり、また本人が自分自身で行動できるような場面設定を工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の性格にあった、本人が出来る事を見い出して促しを行います。無理強いをしないように心がけています。また食事や入浴以外の空き時間は、出来る限り本人のペースや希望を尊重しています。 (外部評価) ホームとして一日の生活スケジュールは決められているが、あくまでも目安としており、利用者のペースを優先した支援に努めている。共同生活の場であるために職員主導となる場面でも、利用者が納得するまで「待つ」という姿勢がある。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で選べる方には本人に任せたり、毎日一緒に洋服選びをしたりと工夫し支援しています。髭剃りや整髪の支援をしたり、理容・美容は希望があれば送迎もしますが、特に希望が無い場合は訪問美容を利用しています。ご家族と外出・外泊の際に美容院を利用される方もおられます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を一緒に考えたり、野菜切りや洗い物も手伝って頂いています。また盛り付けにも気を配り、同じ食卓に職員が必ず座り、会話を楽しみながら支援しています。 (外部評価) 「口から食べることが元気になる秘訣」という考えで、楽しく食べることの支援を重視している。職員は、食事介助を必要とする方も会話が楽しめるように話しかけたり、他の利用者との仲立ちを行ったりしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個室に冷蔵庫をおかれ、好みの物を飲食されたり、一緒におやつ作りをしたりと楽しめるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で一人一人の排泄パターンを把握し、失禁をなくすようトイレ誘導しています。		数ミリハビリパンツやパット使用を布パンツやパットなしに変える事が出来ていますが、これからは失禁等をなくし、トイレで気持ちよく排泄出来るよう支援強化に努めたいと思います。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 設備上の問題から曜日や時間帯は決まっていますが、入浴の順番等はその日の気分や体調により配慮し、くつろいで入浴出来るよう努めています。 (外部評価) ほとんどの利用者に見守りや直接介助が必要なため、時間帯は決めているが、入浴をゆっくり楽しんでもらうように時間配分している。座位保持が厳しい利用者でもお湯に浸かれる設備を整えており、利用者にも好評である。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室内温度、明るさ等に気を配り、個々に合わせた睡眠が取れる様、夜間の見廻りも徹底しています。 また眠れない方には、飲み物の工夫や声かけにも気をつけ、安心して眠れる様その日の体調も考えて支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴を活かし機能、能力に応じて本人の出来る事をして頂き、今ではそれぞれに役割ができており、外気浴や家事、新聞とりと毎日楽しく過ごせるよう支援しています。 (外部評価) 利用者の出来ること、難しいこと、介助すれば可能なこと等を職員間で話し合い、その中で役割や楽しみごとを生活に組み込むようにしている。利用者が役割を達成すると感謝の声かけを行うことを重視しており、役割がやりがいになるような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の自己管理能力の問題で、ご家族と相談、了承の上で事務所預かりとさせて頂いている方が多いですが、希望により買い物時、外出レク時等は本人にお金をお渡ししたり、立替の小遣いを持って頂き買い物をして頂いています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 地域の学校の運動会や地区行事の参加希望者を募ったり、外気浴や散歩に出かけたり、出来る限り本人の希望に添ってドライブや喫茶店、買い物に出かける等の選択ができるような働きかけをしています。 (外部評価) 管理者や職員は、利用者の日常生活の中で外気を浴びることの意義を認識しており、少しの時間でも戸外に出るように促している。玄関の横や駐車場にベンチを配置し、利用者のはんびりと過ごしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参りに出かけたいと言われた利用者にはご家族と連絡を取り支援して頂いたり、利用者さんが住み慣れた地域の地域行事に同行して、ご家族にも参加して頂き交流を持って頂けるようにしています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人からの電話使用の要望はあまりありませんが、希望に応じてホームの電話で取り次ぎ支援を行っています。 手紙等の取次ぎや、暑中見舞いや年賀はがきを出したり等の意欲を引き出せるよう支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関は開放的で家庭的な雰囲気作りに努め、いつでも出入りが出来ます。また訪問の際には本人の居室でゆっくりくつろがれたり好きな場所で過ごして頂けるよう娯楽室も完備し、宿泊もして頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 施設内研修にて資料の配布やアンケート調査を実施し、意識を高めるよう徹底して取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、ホール入り口共に、日中鍵をかけずドアの開閉の際にはチャイムが鳴る様にしており、スタッフの出入りには必ず声かけをし、常に利用者の居場所確認をしています。 (外部評価) 玄関入口は、夜間の防犯以外には鍵は掛けられていない。職員の見守りを重視し、利用者の安全に配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間の声かけや見守りを徹底し、安全確保に努めています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自立度に応じて鉋や爪切り等の物品を所持されていますが、その他貸し出した物品に関しては、必ず職員間で引継ぎ回収するようにしています。また洗面台等の洗剤等はそれぞれ使用される場所が決まっている為、スタッフ全員が把握し見守りの中で置く場所を決めています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で確認をとり、事故報告書やひやりハットなどのノート及び書類にて全ての職員が共有し、改善防止に努めています。		常に居場所確認、見守り介助を怠らず、誤薬等には職員間の再チェックをし投棄しています。また町の消防署の協力で火災訓練も行っています。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではありませんが、年に1、2回施設内研修を行ったり、外部研修の参加を実施しています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に一度、消防署に協力して頂き防災訓練や非難訓練を行っています。また地域消防団、地区役員、ご近所の方への協力も常にお願ひしています。 (外部評価) 消防署と連携しての避難訓練や、近隣住民との話し合いなどを行い、災害対策はホームだけでなく地域を交えて取り組んでいる。		今年度、運営推進委員会の議題としても災害時の対応を取り上げ、地域消防団長さんの参加も頂き緊急時のご協力をお願いしています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時は状態に応じてご家族に説明する機会を持ち、了承を得ています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝夕のバイタルチェック、入浴時、トイレ時等の全身観察、異変の早期発見に努め、記録や申し送りにて情報を共有しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別の薬管理表をファイルして職員全員が目を通すようにしています。また服薬の状態を記録したり、引継ぎしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事以外にもヨーグルトの摂取や水分補給にも留意しています。また腹部マッサージや体操、散歩等の促しに取り組んでいます。		水分不足に注意し、献立には必ず汁物をつけたり果物や野菜ジュース等も取り入れるよう心がけています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、能力に応じて見守り、介助しています。週一回義歯洗浄を行い、また舌のケアも声かけ、介助により行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、食事量をチェックし、個々に合わせた料理の提供をしています。水分についてはお茶、その他の飲み物等、飲み残しの無いよう声かけに努め、また入浴後、運動後の水分補給にも留意しています。 (外部評価) 概略のカロリー把握を行い、栄養バランスに配慮した食事を提供している。利用者の状態によっては刻み食やミキサー食にしたり、量の調整などを行っている。摂取量については食事、水分共に日誌に記入して見守りを行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 年に一度、保健所の行う感染症予防対策研修に参加するとともに、その資料を回覧したり、施設内研修を行って意識改革しています。また利用者に嘔吐等が見られた場合、衣類の洗濯は消毒後行うようにしています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買物は毎日出かけ、新鮮な物を使うようにしており、残った食材を冷凍する場合は、日にちを記入し早めに使い切るようにしています。また台所用品（組板、ふきん等）は毎日、塩素系消毒しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関は格子の引き戸になっており、その周りには季節の草花や家庭菜園等も植えたりと施設を感じさせない家庭的な作りになっています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所は居間と続く対面キッチンになっており、食事支度の音や香りも利用者に届くようになっており、居間の窓からは庭が見え、季節感を味わえます。また廊下やトイレも間接照明で優しい光を取り入れています。 (外部評価) 共用空間を家具の配置でダイニングとリビングに区分け、生活のシーンでうまく使い分けている。壁には利用者の写真や作品が飾られているが、適所に配されているのでインテリアとして部屋に馴染んでいる。広い窓からは豊かな自然を見渡すことができ、心地よい空間である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや長椅子を配置し、畳敷きのコーナーもあり、思い思いの場所で過ごされています。冬場にはコタツを囲み数人で談話されたり等の光景も見られます。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 箆笥や冷蔵庫、テレビ等それぞれが思いの物を持ち込まれ、各部屋毎に個性があると思います。 (外部評価) 利用者により配置されている家具は異なるが、それぞれ使い慣れたものを持ち込んでいる。また、写真や絵なども飾られており、居心地よく過ごせる部屋となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、日中何度か換気に努め温度調節もこまめに行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 脱衣場、浴槽内、トイレ廊下等に手摺を設置したり、物干しや便座は入居者の背の高さに調節したり、各所に休憩の椅子を配置し、個々の身体状況に合わせたケアに努めています。また浴槽も機能に合わせた一般浴とリフト浴の2種類あります。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の表札やトイレの表示など個々の自立度、見当識にも配慮し、季節感を感じれる工夫をしています。		見当識に配慮して、日めくりを声かけにて日課にして頂いたり、草花や装飾品で季節感を出しています。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 屋外の庭には何ヶ所かに縁台や椅子を配置し、外気浴を楽しんだり草花を育てたりされています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	普段の会話の中やアセスメントからその意向をくみ取り、一人一人の役割や生活習慣を大切にしてケアに取り組んでいます。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつ時間や食事時間等、ゆっくり会話しながら過ごすようにしています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	設備の都合上、入浴時間等はこちらの都合に合わせてもらっている事もありますが、排泄時間、睡眠時間と個々に違い、利用者のペースに合わせて対応しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で考え行動できる利用者が増えたり、毎日笑い声が聞こえたり、笑顔で過ごされている事が多いように思います。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調や状況に応じて、全ての希望にそう事が出来ない日もありますが出来るだけ買物や季節の行事等外出の機会も作っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、体調変化に留意し、毎月の往診の他に必要に応じて通院し、医療との連携もとれています。また歩行時、立ち上がり時等の見守りにも留意し、常に居場所確認、安全確認に努めています。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の思いを大切に、時には話を傾聴したり時には声かけしたりその状況に応じて対応しています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会にこられた時には、会話を通じて思いをくみとると共に、ケアの方向性を説明し納得して頂いたり、利用者の日常の様子をお話ししたりする時間を作っている為、ご家族の面会の際には気軽に声をかけて頂いています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	月に数回、習字教室、朗読レク、地域の子供会他ボランティアの方が来て下さっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	毎回、会議の議題にも熱心な意見を下さり、また運営推進会議の委員の方の中に地区子供会のお世話役をされている方もいることから、子供会の訪問等も増えています。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の入れ替わりも少なく、長期働かされている職員が増え、コミュニケーションがよくとれ笑顔で仕事している事が多いと思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で過ごされる事が多くなり、中には「良くして貰って」とか「私は幸せ」等の言葉を口にして下さいます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	今の所ご家族からの苦情はなく、健康面でも「元気になって安心しました」とか「顔つきが良くなっています」等の言葉を頂けています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

健康管理全般 ・状態に合わせた排便観察を行い、出来るだけ薬に頼らず自然排便を促すよう、水分補給や腹部マッサージ、腸蠕動運動を促す体操等に取り組むと共に、
日頃から散歩や日光浴、食べ物にも留意しています。
・体調に合わせ、足浴、マッサージ、立位・歩行訓練、筋力低下防止、可動域訓練にも力を入れ取り組んでいます。
・一人一人の現場での意見を大切に、実行出来るよう常に話し合いを持つようにしています。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム すまいる

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 池田 正代

評価完了日 平成 20 年 9 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者が当ホームを生活の場としてとらえ、家庭で過ごされていた時と同じ安らぎを持ち暮らしていく為の理念を掲げています。 (外部評価) ホームは住宅地で運営をするために、開設前から地域住民と話し合いを行っており、地域という概念は自然と理念の中に組み込まれている。理念の基盤を「地域住民になる」ということに置いている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員個々に名刺大の理念を掲げたカードを常に持ち歩き、またホール内の目の届く所に貼り出す等して意識を高めるようにしています。また入居者に携わる時、その状況を自分に置き換えて考えて見ると言う事を常に話し合い意識づけしています。 (外部評価) 管理者と職員は「自分が住みたい場所」ということをキーワードに話し合いを持っている。ケアを行う時も「自分に置き換えても本当にしてほしいこと？」と絶えず自問自答しながら、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関ホールやホール内でのケア目標の貼り出し及び事務所にて気軽に閲覧できるようにしており、ホームだよりや運営推進委員会でも議題に取り上げ、理解して頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域行事に参加したり、当ホームの行事にお誘いしたりする事で交流が深まっていると思います。今ではご近所の方が家庭菜園の野菜をおすそ分け下さったり、休みの日には近所の子供達が遊びに来て下さいます。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域で行われる清掃や行事に参加しています。又、当ホームの行事には地区の役員さんや子供の参加を呼びかけ、地区の一員として自然体で暮らす事を心がけています。 <hr/> (外部評価) 町内会への加入や散歩時の挨拶、清掃活動など、地域住民としての役割を果たしている。また、地域のボランティアや小学校との交流なども行っているが、職員主導の感があり、利用者が直接的に関わりがあるとまでは言えない。	※	管理者や職員の働きかけで、ホームは地域に定着していると思われるので、今後はさらに利用者が地域住民として役割を持てるような働きかけを望みたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会のメンバーに在宅で認知症介護をしている方がおられ、話しを伺ったりアドバイスをさせて頂く機会もありますが、地域貢献ができていないか、と言われるとまだまだこれからの課題だと思います。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の実施により良い意味での意識の向上に繋がっていると思われます。また評価の問題点に関して職員会でも積極的に取り上げ、その改善方法を話し合い迅速に対応しています。 <hr/> (外部評価) ホームの評価を行うのは今回で5回目と、管理者も職員も評価は回数を重ねており、意義をよく理解している。「毎回考えさせられます」との言葉から、真摯に取り組んでいることがうかがえる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 当ホームの外部評価項目及び外部評価結果を平成19年度の運営推進委員会議の議題としても取り上げ、様々な意見を出して頂きました。またその意見を職員会で話し合いケアの向上に向け取り組んでいます。 (外部評価) 運営推進会議を、話し合いの場だけでなく、研修の機会や親睦を深める場としても活用している。開催場所も、ホーム内だけでなく地域の料理店も活用しており、地域との繋がりが意識されている。議事もイベントの話から利用者の状況まで多岐に渡り、利用者へのサービス向上に活かす取り組みがなされている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 二、三ヶ月に一度の市町村主催の連絡会に参加させて頂いたり、町の介護相談員の方の訪問受け入れも毎月行っています。 (外部評価) 町主催のサービス担当者会議が定期的に行われており、運営推進会議以外でも情報交換が行われている。参加者が30名程度であることで「顔が見える会議」となっており、回数を重ねることが深い連携を可能にしている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加したりと積極的に取り組んでいます。		現在制度を利用されている利用者がいらっしゃいます。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修会等の参加や内部研修やアンケート調査を実施し、防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族には十分な説明、話し合いをし、納得して頂いていると思います。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に一度の市町村の相談員の方との話し合いの中で利用者の希望や不満を聞き出して頂いたり、スタッフと個人的に会話を持つ事で利用者の思いをくみ取るよう心がけてケアにあたっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会にこられた時には近況を報告したり、月に一度近況報告及び金銭面での詳細を送付しています。特に利用者の状態変化が見られる時には、電話報告等を行いご家族と今後のケア方針についてよく話し合うようにしています。 <hr/> (外部評価) 管理者は、家族の来訪時に利用者の日常を伝えられるよう、シフトに工夫をしている。また、来訪の少ない家族等には手紙や情報誌を毎月送付するなど、報告には腐心している。特に身体状況に変化がある場合は電話等での報告を積極的に行い、家族と共にケアの質を上げる取り組みがなされている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 当ホーム内での苦情委員会の設置をご家族に明示し、ケア方針の説明等も個別に行う機会を設け、その中で意見交換するようにしています。又面会時には、管理者や職員がご家族と話す機会を持てるよう努めています。 <hr/> (外部評価) 意見や苦情を表明できる機関を契約時に説明しているが、家族の来訪時は直接意見を聞く機会として、管理者や職員ができるだけ対応するように心がけている。運営者もホームに積極的に関与して家族に声をかけており、意見等を聞いている。		ご家族が外部者に表せるよう、契約書に第三者の苦情窓口の記載をしています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会で意見や提案を聞く機会を作ったり、運営者と年に一度の個別面談を行う中で多くの意見を取り上げ、反映出来るよう努めています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ホーム長及び管理者が毎日フリーで動き、緊急時にも対応出来るようにしています。また外出時や行事に合わせてパート職員の確保をしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 一階に同じ (外部評価) 単独のホームであるために職員の異動はない。また、ユニット間の交代も利用者との馴染みの関係を重視しているために殆んど行われておらず、離職者も多くない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 一階に同じ (外部評価) 利用者へのサービスの向上には職員のスキルアップは不可欠として、法人内での研修が定期的に行われている。また、外部の研修にも参加を促している。職員も向上心が強く、資格の取得にも積極的で、ホームもそれを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 一階に同じ (外部評価) サービス担当者会議でケアに対しての意見交換や事例検討会が行われている。また、地域の他施設と相互訪問も行われている。しかし、管理者レベルの交流であるため、ネットワークづくりとまでは言えない。	※	地域の同業者でのネットワークづくりという計画があるので、先輩格のホームとして積極的に関わっていくことを期待する。また、職員の相互研修なども企画し、ホーム全体の質が向上できるような取り組みを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 一階に同じ		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 一階に同じ		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来る限り本人との面接を行い、利用されるまでも話を傾聴したり、コミュニケーションをとれるよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族とも面接時や契約時十分な話し合いを行い、意向等を確認しながらケアの方向性を決めて、説明にあたるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 十分なアセスメントを行い本人の現状を把握するとともに、自立支援に向けてのさまざまなサービス案を検討しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人との十分なコミュニケーションのもとにその意向を説明させて頂き、納得して利用して頂けるようお茶の時間を一緒に他の利用者と過ごして頂く機会を作ったり、体験宿泊して頂く等、工夫しています。 (外部評価) 利用者がホームに馴染めるように見学や訪問などを行っているが、十分な時間が確保できる場合は多くないため、関わりを重視した取り組みを行っている。関わりのポイントを利用者同士のつなぎ役に置き、相互理解を促している。職員は、目くばりは行うが余計な口出しは行わないようにし、利用者相互が馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者の傍らに寄り添いながらも、共に生活している仲間という意識で、家事やその他それぞれが出来る事を一緒に行いながら昔の風習等を教えて頂く事もあり、共に支えあう関係を築いています。 (外部評価) 職員に仕事の状況を聞くと、「ここに来るとほっとする」と笑顔の回答がある。「利用者からは精神的な安らぎをもらっている」との話もあり、相互扶助の関係が構築されていることがうかがえる。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の面会の時には、食事介助や散歩等を一緒に手伝って頂いたり、外出レクも出来る限り一緒に過ごして頂けるよう連絡しお誘いしています。		今後も家族と過ごす時間を増やして行けるよう、外出や行事計画を進めていきたいと思います。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人との会話の中で、家族に対する気持ち等を読み取るとともに、ご家族とも十分に話し合い、認知症ケアに対する理解と協力をして頂けるよう、常に職員及び管理者、ケアマネージャーが橋渡しになっています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者のお友達等馴染みの方が面会にこられた時には、意思疎通の難しい方には職員が会話の橋渡しをしたり、近所のスーパーへ買物行かれ知り合いにお会いした時等には少しでもお話し出来る時間を作っています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 皆で一つのテーブルに集まって話をする機会を作り、職員が橋渡しする事で、普段あまりお話をされない方でも楽しく会話されたり、レクリエーション等に参加される事で利用者同士の関係を深めていると思います。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 地域密着型になって特に家族とも顔見知りの職員も増え、その後の状況も何う事も出来たり、行事参加の案内等を送付したりもしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り本人の希望に添えるよう、会話の中で把握するようにしています。今現在一人一人の日々の楽しみや役割は大切に出来ていると思いますが、ADLの個人差が大きい為、日によってはすぐに希望を叶える事は難しい事もあります。 (外部評価) 管理者や職員は利用者とは過ごす時間が長く、仕草や会話でその人の思いを感じることができており、それを職員間で共有するように引き継ぎ時に話し合ったり、記録として残したりしている。表現が困難な利用者に対しても、ちょっとした表情を見のがなさいような関わりを大事にしている。		仕事の効率アップに努め、本人の希望を叶えるために時間の余裕を作って行きたいと思います。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族面会時には出来るだけ多くの情報を頂けるように話し合いを十分に持ったり、また回想法等を取り入れる事で、本人からの意思や希望を引き出せるようなケアに取り組んでいます。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康管理表や個人別の介護記録等で日々の観察を記録し、それに目を通しながら、ケアカンファレンスでモニタリングや話し合いを行っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画作成時には家族の希望も事前にお聞きし、常にスタッフ全員でこれまでの経過や問題点の話し合いを持ち、ケアプラン作成時にはスタッフ全員の意見を取りまとめ作成しています。 また医療的治療の必要な方には医療関係者との話し合いを持った上で計画案を作成しています。		
			(外部評価) 介護計画の素案は全員で話し合い、管理者や計画作成担当者がまとめている。家族や関係者にも相談しており、多角的な視点での計画になるように取り組んでいる。しかし、計画の基礎となる記録のデータ化や整理は管理者が主に行っており、チームとしての関わりは少ない。	※	ホームには長期に勤務している職員も少なくなく、介護技術のレベルも高い職員が多いため、各職員に担当として介護計画の原案を作成させるなど、職員を育てる場としての取り組みにも期待したい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 短期目標に合わせてモニタリングを行うとともに、随時状態変化に応じてケアカンファレンスを行い、新たな介護計画を作成しています。		
			(外部評価) 介護計画には短期目標を設定しており、その評価を毎月行うことで見直しの時期を見定めている。利用者の状態に応じ、かかりつけ医等と相談のうえ見直しを行う場合もあり、臨機応変に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人別の介護記録や日誌への記録、情報交換ノートの活用により、スタッフ全員が目を通し情報共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の要望や身体的状況に応じて多機能の分野で個別ケアに取り組んでいます。 (外部評価) 単独のホームであるために、ハード面の機能が整っているわけではないが、管理者やホーム長が往診の支援や送迎などの援助を行っている。近隣に居住している職員が地域住民ならではのちょっとした情報や催し物を利用者と共に楽しんでいることもホームの機能として有用なものになっている。		在宅マッサージやリハビリ通院の介助、衣料品や食料品の買い物に同行したり、また美容院への送迎等様々なニーズに対応しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防、地域消防団の方には、日頃から災害時などの協力をお願いしています。また外出レクの際にはボランティアさんに協力して頂いています。防火訓練の実施や町の文化祭・小学校の運動会への参加等を行っております。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーやサービス事業者同士の交流は常にあるので、その体制は整っています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営者やケアマネジャーが何度か訪問したり、運営推進委員としても来所して頂き、常に相談できる関係を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム担当の主治医がいる為、本人及び家族に事前に説明し納得して入居して頂いていますが、長年のかかりつけ医がいる場合は主治医と相談しながら出来る限り本人の希望も大切にしています。 (外部評価) 認知症に造詣の深い総合病院が協力機関であるため、利用者や家族も納得の上でかかりつけ医となっている。専門分野の医療に関しても、かかりつけ医からの紹介で適切な医療を提供している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医及び協力医療機関は心療内科や認知症専門のケアセンターも隣設されており、常に主治医や看護師との連絡や相談が取れるような関係でケアにあたっています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師は往診時、受診時には必ず同行して下さり、利用者の状態も把握して下さっています。また電話や面会での相談も、気軽に出来る関係を築いています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関は、24時間体制で入院等緊急を要する場合もバックアップして下さっており、また日常的にも情報交換や相談が出来るよう、電話連絡や訪問を行っています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の体調変化に対しては、早急に受診し主治医と相談の上、主治医、運営者、ご家族同席の元、ご家族に説明を行い、その意向や状態により対応しています。 (外部評価) 高度の医療ニーズが必要でない限りはホームで生活できるように支援する方針で話し合っている。家族とも、契約時は勿論のこと利用者の状況に応じて話し合いを行っている。管理者は、終末期の実践から家族の協力は必須との認識があり、ホーム内でのターミナルの方針の共有化には余念がない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医と相談の上、当ホームで出来る事に関しては、全力で取り組んでいます。		栄養不良の利用者に関しては、経口栄養食の摂取介助、また脱水予防には訪問看護にて、点滴施行をしています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の施設に移り住む際には、多施設の担当者とは度々話し合いの時間を持ったり、ご家族とも十分に話し合いを持って対応するようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 常に利用者の気持ちを考えながら、その人その人にあつた言葉かけや対応を心がけています。 また個人の記録もイニシャルを使う等、配慮しています。 (外部評価) 利用者への関わりは、認知症が進んでいる人にもすぐ否定するのではなく、理解していることを示しながらゆっくりと安全な動作になるように声かけを行っている。また、記録の管理も専用の部屋で慎重に行っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせた声かけを行い、促しをする時も本人に確認を取ったり、また本人が自分自身で行動できるような場面設定を工夫しています。		家事手伝いを促す時には、お願いする声かけをするばかりではなく、本人の意思で行動できる場面設定を心がけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の性格にあった、本人が出来る事を見い出して促しを行います。無理強いをしないように心がけています。また食事や入浴以外の空き時間は、出来る限り本人のペースや希望を尊重しています。 (外部評価) ホームとして一日の生活スケジュールは決められているが、あくまでも目安としており、利用者のペースを優先した支援に努めている。共同生活の場であるために職員主導となる場面でも、利用者が納得するまで「待つ」という姿勢がある。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で選べる方には本人に任せたり、毎日一緒に洋服選びをしたりと工夫し支援しています。髭剃りや整髪機の支援をしたり、理容・美容は希望があれば送迎もしますが、特に希望が無い場合は訪問美容を利用しています。ご家族と外出・外泊の際に美容院を利用される方もおられます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を一緒に考えたり、野菜切りや洗い物も手伝って頂いています。また盛り付けにも気を配り、同じ食卓に職員が必ず座り、会話を楽しみながら支援しています。 (外部評価) 「口から食べることが元気になる秘訣」という考えで、楽しく食べることの支援を重視している。職員は、食事介助を必要とする方も会話が楽しめるように話しかけたり、他の利用者との仲立ちを行ったりしている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご自分の居室で好きな物を飲食されたり、コーヒーや紅茶等本人の好みの物を提供するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で一人一人の排泄パターンを把握し、失禁をなくすようトイレ誘導しています。		数ミリハビリパンツやパット使用を布パンツやパットなしに変える事が出来ていますが、これからも失禁等をなくし、トイレで気持ちよく排泄出来るよう、支援強化に努めたいと思います。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 設備上の問題から曜日や時間帯は決まっていますが、入浴の順番等はその日の気分や体調により配慮し、くつろいで入浴出来るよう努めています。 (外部評価) ほとんどの利用者に見守りや直接介助が必要なため、時間帯は決めているが、入浴をゆっくり楽しんでもらうように時間配分している。座位保持が厳しい利用者でもお湯に浸かれる設備を整えており、利用者にも好評である。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室内温度、明るさ等に気を配り、個々に合わせた睡眠が取れる様、夜間の見廻りも徹底しています。 また眠れない方には飲み物の提供をしたり、話し相手になる事で安心して眠れるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴を活かし機能、能力に応じて本人の出来る事をして頂き、今ではそれぞれに役割ができており、外気浴や家事、新聞とりと毎日を楽しく過ごせるよう支援しています。 (外部評価) 利用者の出来ること、難しいこと、介助すれば可能なこと等を職員間で話し合い、その中で役割や楽しみごとを生活に組み込むようにしている。利用者が役割を達成すると感謝の声かけを行うことを重視しており、役割がやりがいになるような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の自己管理能力の問題で、ご家族と相談、了承の上で事務所預かりとさせて頂いている方が多いですが、希望により、買い物時、外出レク時等は本人にお金をお渡ししたり、立替の小遣いを持って頂き買い物をして頂いています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 地域の学校の運動会や地区行事の参加希望者を募ったり、外気浴や散歩に出かけたり、出来る限り本人の希望に添ってドライブや喫茶店、買い物に出かける等の選択ができるような働きかけをしています。 (外部評価) 管理者や職員は、利用者の日常生活の中で外気を浴びることの意義を認識しており、少しの時間でも戸外に出るように促している。玄関の横や駐車場にベンチを配置し、利用者はのんびりと過ごしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参りに出かけたと言われた利用者には家族と連絡を取り支援して頂いたり、利用者さんが住み慣れた地域の地域行事に同行して、ご家族にも参加して頂き交流を持って頂けるようにしています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人からの電話使用の要望はあまりありませんが、希望に応じてホームの電話で取り次ぎ支援を行っています。 手紙等の取次ぎや、暑中見舞いや年賀はがきを出したり等の意欲を引き出せるよう支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関は開放的で家庭的な雰囲気作りに努め、いつでも出入りが出来ます。また訪問の際には好きな場所で過ごして頂けるよう娯楽室も完備し、宿泊もして頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 施設内研修にて資料の配布やアンケート調査を実施し、意識を高めるよう徹底して取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、ホール入り口共に、日中、鍵をかけずドアの開閉の際にはチャイムが鳴る様にしており、スタッフの出入りには必ず声かけをし、常に利用者の居場所確認をしています。 (外部評価) 玄関入口は、夜間の防犯以外には鍵は掛けられていない。職員の見守りを重視し、利用者の安全に配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間の声かけや見守りを徹底し、安全確保に努めています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自立度に応じて鉋や爪切り等の物品を所持されていますが、その他貸し出した物品に関しては、必ず職員間で引継ぎ回収するようにしています。また洗面台等の洗剤等はそれぞれ使用される場所が決まっている為、スタッフ全員が把握し見守りの中で置く場所を決めています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で確認をとり、事故報告書やひやりハットなどのノート及び書類にて全ての職員が共有し、改善防止に努めています。		常に居場所確認、見守り介助を怠らず、誤薬等には職員間の再チェックをし投棄しています。また町の消防署の協力で火災訓練も行っています。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではありませんが、年に1、2回施設内研修を行ったり、外部研修の参加を実施しています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に一度、消防署に協力して頂き防災訓練や非難訓練を行っています。また地域消防団、地区役員、ご近所の方への協力も常にお願ひしています。 (外部評価) 消防署と連携しての避難訓練や、近隣住民との話し合いなどを行い、災害対策はホームだけでなく地域を交えて取り組んでいる。		今年度、運営推進委員会の議題としても災害時の対応を取り上げ、地域消防団長さんの参加も頂き緊急時のご協力をお願いしています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時は状態に応じてご家族に説明する機会を持ち、了承を得ています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝夕のバイタルチェック、入浴時、トイレ時等の全身観察、異変の早期発見に努め、記録や申し送りにて情報を共有しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別の薬管理表をファイルして職員全員が目を通すようにしています。また服薬の状態を記録したり、引継ぎしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事以外にもヨーグルトの摂取や水分補給にも留意しています。また腹部マッサージや体操、散歩等の促しに取り組んでいます。		水分不足に注意し、献立には必ず汁物をつけたり果物や野菜ジュース等も取り入れるよう心がけています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、能力に応じて見守り、介助しています。週一回義歯洗浄を行い、また舌のケアも声かけ、介助により行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じ、量や形状を工夫し、水分補給をこまめに行っています。また栄養補助食品の摂取も調整しています。 (外部評価) 概略のカロリー把握を行い、栄養バランスに配慮した食事を提供している。利用者の状態によっては刻み食やミキサー食にしたり、量の調整などを行っている。摂取量については食事、水分共に日誌に記入して見守りを行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 年に一度、保健所の行う感染症予防対策研修に参加するとともに、その資料を回覧したり、施設内研修を行って意識改革しています。また利用者に嘔吐等が見られた場合、衣類の洗濯は消毒後行うようにしています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買物は毎日出かけ、新鮮な物を使うようにしており、残った食材を冷凍する場合は、日にちを記入し早めに使い切るようにしています。また台所用品（組板、ふきん等）は毎日、塩素系消毒しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関は格子の引き戸になっており、その周りには季節の草花や家庭菜園等も植えたりと施設を感じさせない家庭的な作りになっています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所は居間と続く対面キッチンになっており、食事支度の音や香りも利用者に届くようになっており、居間の窓からは庭が見え、季節感を味わえます。また廊下やトイレも間接照明で優しい光を取り入れています。 (外部評価) 共用空間を家具の配置でダイニングとリビングに区分け、生活のシーンでうまく使い分けている。壁には利用者の写真や作品が飾られているが、適所に配されているのでインテリアとして部屋に馴染んでいる。広い窓からは豊かな自然を見渡すことができ、心地よい空間である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや椅子を配置し、畳敷きのコーナーもあり、思い思いの場所で過ごされています。冬場にはコタツを囲み数人で談話されたり等の光景も見られます。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 筆筒や冷蔵庫、テレビ等それぞれが思いの物を持ち込まれ、各部屋毎に個性があると思います。 (外部評価) 利用者により配置されている家具は異なるが、それぞれ使い慣れたものを持ち込んでいる。また、写真や絵なども飾られており、居心地よく過ごせる部屋となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、日中何度か換気に努め温度調節もこまめに行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 脱衣場、浴槽内、トイレ廊下等に手摺を設置したり、物干しや便座は入居者の背の高さに調節したり、各所に休憩の椅子を配置し、個々の身体状況に合わせたケアに努めています。また浴槽も機能に合わせた一般浴とリフト浴の2種類あります。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の表札やトイレの表示など個々の自立度、見当識にも配慮し、季節感を感じれる工夫をしています。		目の見えにくい方には反転文字を使用した表札を使用したり、見当識に配慮して、日めくりを声かけにて日課にして頂いたり、草花や装飾品で季節感を出しています。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 屋外の庭には何ヶ所かに縁台や椅子を配置し、外気浴を楽しんだり草花を育てたりされています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	普段の会話の中やアセスメントからその意向をくみ取り、一人一人の役割や生活習慣を大切にケアに取り組んでいます。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつ時間や昼食は同席して、一緒に飲食をしながら会話する時間を持ったり、外気浴、レクリエーション等で楽しく過ごせる時間を提供できるように努めています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	設備の都合上、入浴時間等はこちらの都合に合わせてもらっている事もありますが、排泄時間、睡眠時間と個々に違い、利用者のペースに合わせて対応しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で考え行動できる利用者が増えたり、毎日笑い声が聞こえたり、笑顔で過ごされている事が多いように思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調や状況に応じて、全ての希望にそう事が出来ない日もありますが、出来るだけ買物や季節の行事等外出の機会も作っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、体調変化に留意し、毎月の往診の他に必要に応じて通院し、医療との連携もとれています。また歩行時、立ち上がり時等の見守りにも留意し、常に居場所確認、安全確認に努めています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の思いを大切に、時には話を傾聴したり時には声かけしたりその状況に応じて対応しています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会にこられた時には、会話を通じて思いをくみとると共に、ケアの方向性を説明し納得して頂いたり、利用者の日常の様子をお話ししたりする時間を作っている為、ご家族の面会の際には気軽に声をかけて頂いています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	月に数回、習字教室、朗読レク、地域の子供会他ボランティアの方が来て下さっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	毎回、会議の議題にも熱心な意見を下さり、また運営推進会議の委員の方の中に地区子供会のお世話役をされている方もいることから、子供会の訪問等も増えています。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の入れ替わりも少なく長期働かれている職員が増え、コミュニケーションがよくとれ笑顔で仕事している事が多いと思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で過ごされる事が多くなり、中には「良くして貰って」とか「私は幸せ」等の言葉を口にして下さいます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	今の所ご家族からの苦情はなく、健康面でも「元気になって安心しました」とか「顔つきが良くなっています」等の言葉を頂けています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

健康管理全般 ・状態に合わせた排便観察を行い、出来るだけ薬に頼らず自然排便を促すよう、水分補給や腹部マッサージ、腸蠕動運動を促す体操等に取り組むと共に、
日頃から散歩や日光浴、食べ物にも留意しています。
・体調に合わせ、足浴、マッサージ、立位・歩行訓練、筋力低下防止、可動域訓練にも力を入れ取り組んでいます。
・一人一人の現場での意見を大切に、実行出来るよう常に話し合いを持つようにしています。